

## 抗 Tfg2 (*S. cerevisiae*) 抗体、ウサギポリクロ

62-019 100 µl

保存温度：4℃で輸送、-20℃で保存

反応性：出芽酵母 Tfg2 タンパク質

免疫原：組換え体 His-tag 付き全長 Tfg2 タンパク質(1-400 aa)

用途：ウェスタン ブロットイング

性状：0.1%アジ化ナトリウム添加抗血清

背景：基本転写因子 TFIIF は、RNA ポリメラーゼ II と結合し、転写開始反応および伸長反応に関与する。出芽酵母の TFIIF は、Tfg1p (735aa)、Tfg2p (400aa)、Taf14p (244aa) という3個のサブユニットから構成される。

データリンク：[TFG2/YGR005C](#)

文献：本抗体は以下の論文に記載され、使用された。

Takahashi H. et al. *Saccharomyces cerevisiae* Med9 comprises two functionally distinct domains that play different roles in transcriptional regulation. [Genes Cells](#). 2009 Jan;14(1):53-67. doi: 10.1111/j.1365-2443.2008.01250.x **WB**

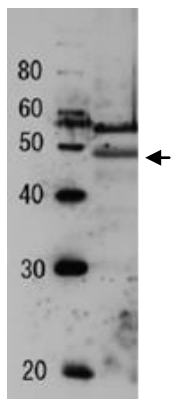


図 ウェスタンブロット法による内在性 Tfg2 タンパク質の検出

サイズマーカータンパク質 (kDa)

試料：出芽酵母抽出液

抗血清は 5,000 倍希釈して使用

Tfg2 タンパク質の分子量は 46.6 kDa